

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
フォローアップ結果（令和7年度）

プログラム名	学術知共創プログラム
課題	課題C：新たな人類社会を形成する価値の創造
研究テーマ名	人間・社会・自然の来歴と未来：「人新世」における人間性の根本を問う
研究代表者	中村 靖子
所属機関・部局・職	名古屋大学・大学院人文学研究科・教授
フォローアップ所見 人文学社会科学と自然科学の広い分野にまたがる 20 名に及ぶ研究者を擁する野心的な研究であるが、それだけに、求心的な共同作業を通じて本プロジェクト全体としてのまとまった具体的な成果を出してゆくことの難しさは予想されたところである。 国際学会でのパネル参加や海外での国際会議開催を含め、研究代表者、分担者の参加する会議は、班を超えて活発に開催され、各研究者の研究成果は順調に発表されている。しかしプロジェクト全体としての統合された成果は何かという点がいまだ十分に示されているとはいえない。2024 年度末は本プロジェクトの中間点であるので、中間まとめのような形で「共創」の成果を具体的に示すことを期待したい。 今回の報告書やホームページでは、様々な会議においてそれぞれの研究者が発表したオリジナルな研究成果が挙げられているが、これにとどまらず、その会議を通じて本プロジェクトの目標に関わるどのような新たな共通の認識が得られたのかを、より明確に示すことが望ましい。2025 年 3 月に予定を前倒しして刊行された AAA 叢書第 1 巻『ことば×データサイエンス』についても同様のことが言える。 2025 年度からの期間後半においては、本プロジェクトとしての統合性をもった共同研究の成果を、より具体的に示すよう工夫していただきたい。	